

2021 医師連シンポジウム

当日参加者 計81名 (担当者・講師含む)

他に所属病院で複数での視聴もあり

<内訳 職種別>

医師 48名 看護師 7名 事務 20名 他職種 6名

<内訳 病院別>

本庁 11 中央 9 胆沢 8 中部 7 磐井 5 宮古 5

二戸 4 軽米 4 千厩 4 釜石 3 久慈 3

大船渡、高田、一戸、南光、大迫 各 2 江刺、東和、大東、山田、住田 各 1

県病以外(講師等) 3

感想・意見

(1) 講演 1 「ニューノーマル時代の感染症診療

～COVID-19 から学び、COVID-19 と向き合う～

東北医科薬科大 関 雅文 教授

<医師>

- ・最新情報を講演してもらい、コロナ診療にあたる医師として大変勉強になり、非常に有意義でした。
- ・大変勉強になりました。また、時間をおいて聴講したいです。この疾患は解明途中ですので、きっとその頃にはご講演の内容が変わっているはずですが、大きく良い方向に変わっていれば良いなあと思います。
- ・薬剤のことなど、今後の治療についてもわかりやすく解説していただきました。
- ・大変素晴らしいご講演でした。データをもとに理論的に話してくださり、コロナが血管病変であることなど根本的なことまでよくわかりました。また、講師の人柄も非常に素晴らしく、中野先生の人選に感謝いたします。
- ・抗体カクテルの有用性など現場の意見が聞けてよかった。今後のコロナ治療に向けて明るい話でした。
- ・非常に意義のある講演でした。ワクチンの働きなどは、頭では多分こうなんだろうと漠然としていたものがクリアになりました。今後のワクチン、治療薬の展望が見えて良かったです。

<事務>

- ・正直難しかったですが、これからの新しい薬について知ることが出来て良かったです。

(2) 講演 2 「岩手県の新型コロナウイルス感染症医療体制について」

岩手医大 眞瀬 智彦 教授

<医師>

- ・岩手県のコロナ対応がわかり、現場の医師として、今後の診療に役立ちます。とても良かったです。
- ・岩手県もいろいろな予測を立てながら頑張っているのだなあと感じました。
- ・今までの岩手県でのコロナ診療の実状を知ることができたので大変良かったと思います。
- ・岩手の現状等をわかりやすく話してくださいました。
- ・保健所や県庁の皆さんの大変だった様子が聞けて今後も前向きに対処しなければならない。
- ・岩手県のコロナの状況が概観できて良かったです。しかしながら、今後の岩手県のコロナ医療体制の展望が少なかったと思います。少ない医療資源でどのように対応していくのか。治療薬が進歩してきているので、今後の医療体制にもう一つ意見がほしかったです。

<事務>

- ・体制について知ることが出来て良かったです。感染人数の見込み予測がなされているのを基とした対策の取り組みを知ることが出来ました。(事務)

(3) 全体的に： その他のフリーコメント・これから取り上げてほしいテーマなど

<医師>

- ・今後の取り上げてほしいテーマとしては AI の医療への活用など、実際の臨床の場で活用できるまたはすでに活用されている有用な AI ツールのお話しが拝聴できればと思います。
- ・講演(1)(2)とも、とてもためになりました。
- ・WEB にして頂くと盛岡まで行く時間も有効に使うことが出来、仕事場もしくは自宅でも受講が出来ます。盛岡に住む人以外も参加しやすいと思いますので、来年以降も集合研修にこだわらず、WEB 参加も残して頂きたいと思います。

<事務>

- ・今年のシンポジウムでも、むやみに怖れるのではなく正しく怖れることの大事さを今回も感じました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。

<その他>

- ・臨床現場の生のお話を聞くことができ、また、現在の治療法・薬の情報も含まれており、とても勉強になりました。